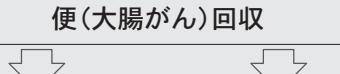


基本健診・介護予防健診の流れ  
※太字は介護予防健診項目

40歳～64歳 65歳以上



65歳以上



## 65歳以上の介護予防健診がスタートします

**介護保険法一部改正により**

**■ 介護予防健診とは**

介護保険法施行令一部改正が平成十八年四月一日から施行され、六十五歳以上の方は従来の『基本健康診査』に、『介護予防健診』が加わります。

**目的** 日常生活機能の低下（身体の衰弱や転倒骨折、低栄養、口腔機能の悪化、閉じこもり、認知症、抑うつ）がないかどうかを判断します。

**対象** 村内に居住する六十五歳以上の方で基本健康診査を受ける方全員が対象となります。

**内容** ①生活機能検査（二十五項目）問診、アルブミン検査、関節可動域の検査（腕や膝の関節を動かしてその動きや痛み、変形の有無などを見ます）口腔内の衛生状態視診（歯科衛生士が口の中を見ます）唾液嚥下検査（唾液を上手に飲み込むかを見ます）

**■ 介護予防健診とは**

域の検査、口腔内の衛生状態視診は全員実施／②唾液嚥下検査は必要な方のみ実施

**方法** 住民健康診査期間（八月三十日～九月十一日）に基本健康診査と併せて行います。

**料金** 六十五歳～六十九歳の方：五〇〇円、七十歳以上の方：無料

**結果** ※基本健康診査も含めた料金です。※基本健康診査も含めた料金です。

**■ 介護予防健診受診後は**

「生活機能の低下がある」と判定された方は、村地域包括支援センターにお返しします。

**■ 介護予防健診を受けるには**

の専門員が、本人に合った効果的な介護予防計画を作成します。この計画に基づき、村が行う運動機能向上などの介護予防教室を利用することができます。

**■ 介護予防健診を受けるには**

介護予防健診は、住民健康診査期間に併せて行います。六月に行なった「健診希望調べ」で、『基本健康診査』を「受ける」と希望された方は『介護予防健診』も同時に受けられます。ただし、希望しなかった方も申し込んでいただければ受けることができますので、八月十一日（金）までに村保健センター（☎29-1231）にご連絡ください。

## 65歳以上の介護予防健診がスタートします

八月三十一日（木）から九月十一日（月）まで、住民総合健康診査（生活習慣病健診）を行います。最寄りの会場で受診してください。

健診の受診録は、六月に実施した健康管理世帯調査（健診希望調べ）で受診を希望しました方に配布します。受診を希望しなかつた方でも、受診対象年齢であれば受けることができますので、事前に村住

民福祉課健康係までご連絡ください。  
健診で身体の総チェックをして、自分では気付きにくい「不調のサイン」を読み取り、いつまでも健康に過ごしましょう。

■ 内容 「表1」のとおり  
■ 日程・会場 「表2」のとおり  
（受付時間は、午前七時半（九時三十分）※指定会場以外でも受診できます。）



# 健診で身体の総チェック

■問い合わせ 村住民福祉課健康係  
(村保健センター内)☎29-1231

[表1] 住民総合健康診査内容

健診名	内 容	対 象	料 金
結核検診	胸部X線撮影	65歳以上の方	無 料
肺がん検診 (肺野部)	胸部X線撮影	40～64歳の方	500円
基本健康診査	身体計測、血圧測定、尿検査、聴打診、血液検査、眼底検査、心電図検査、医師診察	40歳以上の方	500円(70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料)
(新)介護予防健診	生活機能検査、関節可動域の検査、口腔内衛生状態、唾液嚥下検査、アルブミン検査	65歳以上で、 基本健康診査を受ける方	
胃がん検診	胃部X線撮影	40歳以上の方	500円(国保加入者70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料)
大腸がん検診	便採取		500円(70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料)
C型肝炎ウイルス検査	血液検査(C型肝炎ウイルスに感染していないかを検査します。)	40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の方	
口腔健診	口腔パノラマレントゲン撮影、歯科衛生指導	40～70歳の方	500円
前立腺がん検診	血液検査	50歳以上(男性)	

※大腸がん検診は、精密に検査するために2日分便を採取してください。受診しない方は、健診期間中に採便容器を健診会場か村保健センターに戻してください。

※口腔健診は9月4日(月)、5日(火)、6日(水)の3日間実施します。  
※健診送迎バスを運行しますので、詳しくは後日お送りする健康だよりの「健診送迎バス時間」をご覧ください。